

(別冊 1)

令和元年度 事業報告書

社会福祉
法人 松山市社会福祉協議会

も く じ

【はじめに】	1
--------	---

【社会福祉事業】

1 法人運営事業

(1) 社会福祉協議会運営事業	1
(2) パソコン等情報機器管理事業	2
(3) 小口資金等償還促進事業	2

2 地域福祉活動支援事業

(1) 地域福祉サービス事業	3
(2) 生活支援体制整備事業	3
(3) ボランティアセンター運営事業	4
(4) 社協会員加入促進事業	7
(5) まごころ銀行運営事業	7

3 共同募金配分金事業

(1) 見舞金支給事業	
①在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金支給事業	7
②災害見舞金支給事業	8
(2) 地区社協育成事業	
①共同募金地区社協配分事業	8
②地区社会福祉協議会連絡会運営事業	8
(3) 地域福祉活動啓発事業	
①広報啓発事業	9
②若草福祉まつり開催事業	9
③ふれあいフェスティバル（わかくさファミリーまつり）開催事業	10
④福祉サポートフェスタ開催事業	10
⑤北条社会福祉センターまつり（文化の森福祉まつり）開催事業	10
⑥愛媛マラソン直前清掃ボランティア活動	11
⑦障がい者理解啓発イベント開催事業	11
⑧キッズカレッジ～みんなの居場所づくり～事業	11
[新規] ⑨防災・減災シンポジウム開催事業	12
⑩注文をまちがえる喫茶店プレ開催事業	12

(4) 地域交流支援事業

①地域交流サロン等活動支援事業	12
②道後温泉浴衣活用事業	13
③福祉団体助成事業	13

④地域団体研修等車輛借上助成事業・	13
[新規] ⑤子育て応援プロジェクト事業・	13
(5) 見守り支援事業	
①安心カードみまもり支援事業・	14
②認知症高齢者SOSネットワーク事業・	14

4 相談支援事業

(1) 生活困窮者自立相談支援事業・	15
(2) 障がい者総合相談窓口事業・	15
(3) 福祉サービス利用援助事業・	16
(4) 福祉資金貸付事業・	17
(5) 聴覚総合支援事業	
①聴覚総合相談事業・	17
②手話通訳者設置事業・	18
③意思疎通支援事業・	19
④意思疎通支援者養成事業・	19
⑤聴覚障がい者等生活訓練事業・	20

【公益事業】

1 センター管理・運営事業

(1) 総合福祉センター管理・運営事業・	21
(2) 地域福祉支援システム管理運営事業・	22
(3) 番町福祉センター管理事業・	22
(4) 北条社会福祉センター管理運営事業・	23
(5) いきがい交流センターしみず管理運営事業・	23
(6) 活動拠点整備事業・	23

2 地域生活支援事業

(1) 高齢者等支援事業	
①愛の一声訪問事業・	24
②在宅ねたきり高齢者理容サービス事業・	24
③配食サービス事業・	24
④福祉機器貸出事業・	24
(2) 介護予防促進事業	
①ふれあい・いきいきサロン活動支援事業・	24
②松山健康づくり体操教室事業・	26
③まつやまシニアカレッジ事業・	26
④北条文化の森いきいき講座事業・	26

3 調査・評価支援事業

(1) 要介護認定等訪問調査事業	
①要介護認定訪問調査事業・	27

②生活保護受給者身体状況訪問調査事業	27
③住所地特例認定訪問調査事業	27
④障害支援区分認定調査事業	27
(2) 社会福祉施設等支援事業	
①介護サービス事業者調査事業	27
②ケアプラン評価等事業	28
③介護相談員派遣事業	29
4 権利擁護センター事業	
(1) 権利擁護センター運営事業	29
(2) 法人成年後見事業	30
(3) 市民後見推進事業	31
5 広報啓発事業	
(1) 福祉啓発・人材育成事業	
①福祉大会開催事業	32
②ボランティア養成講座事業	32
③コミュニケーションスキルアップ講座事業	32

【はじめに】

少子・高齢化の進行や人間関係の希薄化などを背景に、地域や家庭等での生活課題が多様化・深刻化する中、国においては地域共生社会の実現を目指すため、改正社会福祉法に基づき、全国各地で「各地域での住民相互の支え合い機能を強化し、公的支援と協働して地域課題の解決を試みる体制の整備」「複合的課題に対する包括的相談支援体制の構築」「地域福祉計画の充実」等が図られています。

こうした中、松山市社会福祉協議会では、本年度から松山市の地域福祉計画と一体となった「第4期地域福祉活動推進計画～このまちのえがおプラン～」を策定し、「みんなが つながる 支える まちづくり」を新たな基本理念に掲げ、松山市や医療分野をはじめとする関係機関・団体、民間企業等との連携・協働を図りつつ、地域福祉活動の要である地区社協・地区民協活動の支援、高齢者や障がい者等要援護者の支援体制の更なる充実に努めました。

また、平成30年7月に発生した豪雨災害を風化させないため、地域住民の防災・減災意識の醸成を図るシンポジウムの開催や、地域資源の発掘と新たな創出に向けた取組み、SNS等の広報媒体を活用した多世代への社協活動の理解啓発の促進、認知症や子育て世代の支援など、制度や分野の枠に捉われない横断的な支援策とそのきっかけづくりに積極的に努めました。

【社会福祉事業】

1 法人運営事業

(1) 社会福祉協議会運営事業

【市補助事業】

理事会・評議員会の開催や本所及び支所の運営全般を行い、適正な法人運営や大学・教育機関等と連携した福祉人材の育成をはじめ、本会賛助会員や「連携に関する協定書」を締結した企業等と協働事業を実施するなど、本会事業の啓発や財源確保、更には企業の社会貢献活動の促進を図るとともに、働き方改革に対応するため、関係する規程等の変更を行い、労働環境整備等に努めた。

ア. 理事会の開催（定数：理事13名・監事2名）

開催日	出席者数	議案
令和元年6月6日	12名	平成30年度事業報告について 平成30年度収支決算について 評議員選任・解任委員会外部委員の委嘱について 評議員選任候補者の推薦について 令和元年第2回評議員会の開催について
令和元年6月27日	10名	会長・副会長・常務理事の選定について 名誉会長の委嘱について
令和2年3月12日	15名 (書面決議)	令和元年度資金収支補正予算について 令和2年度事業計画について 令和2年度資金収支予算について 市総合福祉センターの管理運営に関する年度協定について 嘱託職員給与規程の制定について 嘱託職員就業規則の一部改正について 退職手当等に関する規程の一部改正について 就業規則の一部改正について 職員の採用等に関する規程の一部改正について 評議員選任候補者の推薦について 令和2年第1回評議員会の開催について ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

イ. 評議員会の開催（定数：評議員 22 名）

開催日	出席者数	議 案
令和元年 6 月 27 日	19 名	平成 30 年度事業報告について 平成 30 年度収支決算について 役員の選任について
令和 2 年 3 月 26 日	22 名 (書面決議)	令和元年度資金収支補正予算について 令和 2 年度事業計画について 令和 2 年度資金収支予算について 市総合福祉センターの管理運営に関する年度協定について 役員の選任について ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

ウ. 評議員選任・解任委員会の開催（定数：委員 6 名）

開催日	出席者数	議 案
令和元年 6 月 13 日	6 名	評議員の選任（2 名）について
令和 2 年 3 月 17 日	5 名	評議員の選任（9 名）について

エ. 実習生の受入等

学校数	人 数	実習内容
3 校	10 名	相談援助実習や臨地実習等

(2) パソコン等情報機器管理事業

【自主事業】

各種事業を効率的に実施するため、整備されたパソコン等の情報機器を活用し、情報の共有化を図るとともに、安全な運用管理及びセキュリティ対策の強化に努めた。

設置状況	台 数	設置場所
社協 L A N	80 台	本所 外 6 ヶ所
訪問調査業務	42 台	本所 外 3 ヶ所

(3) 小口資金等償還促進事業

【自主事業】

母子家庭等小口資金貸付事業（平成 19 年度終了）及び低所得者小口資金貸付事業（平成 20 年度終了）の貸付金未償還金について、訪問調査や償還指導により回収に努めた。

資金名称	徴収可能債権	償還件数	償還金額
低所得者小口資金	32 件（469,000 円）	14 件	64,000 円
母子家庭等小口資金	3 件（206,000 円）	4 件	20,000 円
合 計	35 件（675,000 円）	18 件	84,000 円

2 地域福祉活動支援事業

(1) 地域福祉サービス事業

【市補助事業】

地区社協を実施機関とし、住民参加のたすけあい（自助・互助）の精神を基調とした預託点数制による住民参加型在宅福祉サービスの提供をはじめ、福祉学習、地区福祉だより発行による福祉教育や啓発活動を行う等、地域福祉活動の推進を図った。また、各地区別の協力会員研修等の開催を積極的に支援し、協力会員への意識の醸成を図るとともに、地域関係団体等へチラシ配布を行うなど、新たな協力会員の確保に努めた。

ア. 会員数・活動状況等

・協力会員数

男	女	合計
361 名	1,797 名	2,158 名

・活動状況

延派遣回数	延派遣時間数	延預託点数	内容等
5,879 回	11,961 時間	23,922 点	ゴミ出し、話し相手、サロン活動の支援、地区社協事業の手伝い等

イ. 地区社協活動推進事業

助成内容	助成地区	助成総額	内容等
福祉学習事業 助成	39 地区	3,000,000 円	80,000 円を限度に助成 (延べ実施回数 163 回)
活動計画策定 助成	7 地区	70,000 円	地域福祉活動計画策定にあたり 10,000 円を限度に助成
地区社協 チャレンジ事業	5 地区	265,000 円	開始から 3 年目まで 100,000 円 その後 3 年間 50,000 円を上限に助成 *ただし、総事業費の 1/2 を限度

ウ. 地区別活動状況及び経理状況調査の実施

実施地区	市内地区社協（40 地区）
調査期間	平成 31 年 4 月 ～ 令和元年 6 月
内 容	各地区を訪問し、会長、関係役員等からの活動状況の聞き取りや一般会計及び特別会計の経理に関する調査を実施

エ. 地区社協だよりの発行

実施地区	38 地区 / 40 地区中
発行回数	62 回
内 容	地区内各世帯への配布による地区社協活動等の周知・啓発（年 1 ～ 4 回発行）

(2) 生活支援体制整備事業

【市受託事業】

高齢者が健康で生きがいを持って暮らすことができるよう、地域で支え合う社会の基盤づくりを進めるため「生活支援コーディネーター」を配置し、地域のニーズや資源の把握、地区社協や地区民協をはじめとする関係者間のネットワークの構築、ニーズと取り組みのマッチング等の推進に努めた。

また、住民の地域活動にスポットを当てた「地域のお宝発表会 in まつやま」を開催し、地域の取り組みを関係者間で共有するなど、新たな社会資源の創設や事業の拡充に努めた。

ア. 関係機関とのネットワーク構築

項 目	内容等
第1層協議体 (市全域)	地域のお宝発表会 in まつやま (第1層協議体として開催) 開催回数: 1回 (目標1回) 開催日: 令和2年1月21日 会場: 市総合福祉センター 1階 大会議室 参加者: 300名
第2層A協議体 (9ブロック)	開催回数: 12回 (目標9回) 会場: 市総合福祉センターほか 参加者数: 延 218名
第2層B協議体 (40地区)	暮らし支え合う井戸端トーク 開催地区: 30地区 / 40地区中 (目標35地区) 延べ実施回数 35回 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため7地区開催中止

イ. 地域資源の把握

項 目	内容等
地域のニーズと地域資源の把握	地区社協をはじめ、地域内の関係機関・団体と連携し、協議体を活用した地域課題や取り組み等を共有した。
情報の整理及び見える化 (SNSの活用)	令和元年10月から「へこまんくんといく!」と題し、生活支援コーディネーターが地域活動取材し啓発に取り組んだ。(58件)

ウ. 地域支援体制の構築

項 目	内容等
地域福祉サービス事業の機能充実に向けた取組	事業の理解促進を図るため地区社協が主催する協力会員研修会等で事業の周知に取り組んだ。

エ. 担い手の養成

項 目	内容等
地域住民や関係者を対象とした研修会等の実施	地域福祉リーダー養成講座 開催日: 令和2年2月19日 会場: 市総合福祉センター 5階 中会議室 参加者: 72名 (目標80名)

(3) ボランティアセンター運営事業

【市補助事業】

ボランティアの育成援助、コーディネート機能の充実、ボランティア団体・関係機関との連携・協働に努め、ボランティア活動の振興・拡大に努めた。

ア. 運営

- ・運営委員会の開催 (委員8名)

開催日	出席者数	協議事項
令和元年7月16日	7名	・平成30年度事業報告について ・令和元年度事業進捗状況について ・令和2年度事業計画について
令和2年3月11日	-	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

- ・松山市ボランティア連絡協議会への運営協力等

松山市ボランティア連絡協議会の運営協力や事業助成を行い、ボランティアグループ相互の連携と協働及び情報交換等を行いボランティア活動の推進に努めた。

イ. 相談支援

ボランティア活動に関する相談・連絡調整・登録を行い、ボランティア活動の推進に努めた。

・登録数

項 目		内容等
団 体		517 団体・43,430 名（新規：12 団体・1,450 名）
個 人		2,821 名（新規：103 名）
災害登録	個 人	110 名
	協 定	1 校（大学）・10 社（企業）

・福祉体験学習事業

市内の小・中学校及び高等学校の児童・生徒や団体等を対象に、ボランティア活動に関する学習の機会を提供し、活動の推進及び福祉観の醸成に努めた。

項 目	学校数等	延件数	延参加者数	内 容
小 学 校	35 校	65 件	6,147 名	ボランティア活動に関する体験学習 ・技術学習（手話、点字、車いす等） ・フィールドワーク ・障がい者との交流学习等 （目標 130 件 10,000 名）
中 学 校	8 校	9 件	1,335 名	
そ の 他	19 団体	38 件	1,618 名	
合 計	43 校・19 団体	112 件	9,100 名	

・各関係機関のボランティア関係事業協力等

関係機関・団体が実施する各種イベントにボランティア及び職員を派遣することにより、円滑な事業運営の協力に努めた。

イベント名	主催団体	活動者数
第 34 回トライアスロン中島大会	松山市・トライアスロン中島大会 実行委員会	98 名
第 49 回（令和元年度） 松山市障がい者ふれあいスポーツ大会	松山市障がい者団体連絡協議会	61 名
第 54 回松山まつり 野球拳おどり「じっとしと連」	松山市障がい者団体連絡協議会	11 名
松山市総合防災訓練	松山市	3 名
第 21 回ふれあいの祭典	松山市障がい者団体連絡協議会	24 名
第 2 回ウェルピア伊予まなぼうさい	ウェルピア伊予	10 名
令和元年度 障がい者へのおもてなし向上講習会	日本旅館協会愛媛県支部	52 名
その他	まつやま NP0 サポートセンター運営協議会 外 13 団体	56 名
合計	延 21 団体	315 名

ウ. 情報提供・広報啓発

関係機関・団体等からの各種ボランティア情報の収集に努めるとともに、情報紙や携帯電話等を活用しタイムリーな情報提供を行った。

項 目	内容等	
「おせったい通信」の発行	発行回数	12 回
	発行部数	各 4,400 部
	配 布 先	ボランティアグループ、個人ボランティア、福祉関係団体、市関係機関、民生児童委員協議会、各大学、企業等 850 ヶ所
メールマガジン	登録者数	1,267 名（新規：23 名）
携帯電話ボランティア情報システムによる情報提供	登録者数	1,310 名（新規：28 名）
	送信回数	10 回
バリアフリー情報の提供	公開施設数	1,183 施設
ホームページ	アクセス数	5,396 件
民間助成事業の情報収集・提供	情報提供数	21 件（相談件数：24 件）

エ. 研修会・講座等の開催

講座名	開催回数 / 会場 / 内容等	延参加者数等
傾聴ボランティア養成講座	開催回数：5 回（令和元年 7 月 11 日～8 月 8 日） 会 場：市総合福祉センター 5 階 中会議室等 講 師：福本由美 氏 （脳活性サポート企業 gift 代表）	60 名 （目標 40 名）
災害ボランティア養成講座	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止	—
若年層ボランティアリーダー養成研修	開催回数：1 回（令和 2 年 2 月 8 日） 会 場：聖カタリナ大学 136 教室 講 師：一色麻生 氏（Fushime 塾代表/就職率 up 専門コンサルタント）	16 名 （目標 30 名）
夏休み！親子ボランティア体験講座	開催回数：3 回（令和元年 7 月 22 日～29 日） 会 場：市総合福祉センター 5 階 中会議室等 内 容：①同行援護体験・盲導犬 ②手話体験 ③車いす操作・介助・高齢者疑似体験等 講 師：高橋信行 氏（県立松山盲学校教諭） 手話学習会火曜会 地域包括支援センター味酒・清水	①29 組 ・65 名 ②27 組 ・61 名 ③14 組 ・30 名 （目標各 20 組）

オ. 防災とボランティアの日（災害ボランティアのパネル展示）

展示期間	内容等
令和 2 年 1 月 14 日 ～ 31 日	・災害時の新聞記事（阪神淡路大震災時の記事） ・平成 30 年 7 月豪雨災害ボランティア活動写真の展示 ・平成 30 年 7 月豪雨災害時のボランティア活動 DVD 上映

(4) 社協会員加入促進事業

【自主事業】

社協だよりや各種事業等を通じて市社協への理解と支援の拡充及び安定した財源を確保するため、継続加入並びに新規会員の拡大に努めた。

ア. 加入状況

会員種別	目 標	会員数	口 数	金 額
個人会員（個人）	3,000,000 円（3,000 口）	1,782 名	2,235 口	2,235,000 円
特別会員（団体）	2,500,000 円（500 口）	225 団体	376 口	1,726,869 円
賛助会員（企業）	1,500,000 円（150 口）	94 社	101 口	1,010,000 円
合 計	7,000,000 円	—	—	4,971,869 円

イ. 会員紹介状況

対 象	紹介方法	会員数
全会員	市社協ホームページ等への名称掲載	81 名・91 団体・88 社
賛助会員 2 口以上の特別会員	①市社協ホームページとのリンク設定 ②市総合福祉センター内パンフレット コーナーの活用	2 団体・37 社

(5) まごころ銀行運営事業

【自主事業】

地域福祉活動の推進を図るため市民から善意の寄付を受け入れ高齢者や障がい者の福祉サービス事業に活用するとともに、物品については寄付者の意志に基づき社会福祉施設等へ払い出しを行うなど、広く社会福祉の推進及び寄付文化の醸成に努めた。

ア. 受入状況等

種 別	目 標	受 入	件 数	受入・払出先
金 銭	5,182,000 円	3,244,842 円	48 件	市社協
物 品	—	りんご	2 件	児童福祉施設 4 ヶ所
	—	車いす	3 件	市社協

* えひめ中央農業協同組合 --- 25 商品の売り上げの一部を寄付（73,243 円）

* 感謝状の贈呈（5 件）

3 共同募金配分金事業

(1) 見舞金支給事業

【自主事業】

① 在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金支給事業

地区から申請のあった 65 歳以上の在宅ねたきり高齢者及び認知症高齢者に対し見舞金を配布することにより、ねたきりの高齢者等への激励とともに、介護者の相談・支援や実態把握に努めた。

項 目	内容等
申請者数	149 名
見舞金総額	447,000 円（3,000 円 / 1 名）

②災害見舞金支給事業

不慮の災害による家屋の全焼・全壊、死亡、行方不明の被災者及び遺族に見舞金を配布することにより、応急的な生活費の援助と福祉の増進に寄与した。

項 目	件 数	内容等
住宅火災等	6 件	120,000 円 (20,000 円 / 1 世帯)
死亡弔慰金	3 件	60,000 円 (20,000 円 / 1 名)
合 計	9 件	180,000 円

(2) 地区社協育成事業

【自主事業】

①共同募金地区社協配分事業

各地区社協の事業計画に基づき共同募金配分金を助成し、地域福祉の推進に努めた。

助成先	助成額
市内全地区社協 (40 地区)	34,993,840 円

②地区社会福祉協議会連絡会運営事業

市社協と地区社協の連絡調整機能を強化し、各地区社協相互の情報交換及び連携・協働を促進するとともに、生活支援体制整備事業と連動した事業展開を通じて、市社協及び地区社協の事業・活動の更なる活性化に努めた。

ア. 連絡会・研修会等の開催

研修会名等	開催日 / 会場 / 内容等	参加者等
地区社連 会長・事務局長 連絡会	開 催 日：平成 31 年 4 月 19 日 会 場：市総合福祉センター 5 階 中会議室 テ ー マ：第 4 期松山市地域福祉計画・地域福祉活動推進計画～このまちのえがおプラン～について 説 明：松山市保健福祉部保健福祉政策課職員 松山市社会福祉協議会地域福祉部地域支援課職員	会長・事務局長 72 名 (目標 80 名)
	開 催 日：令和元年 7 月 10 日 会 場：市総合福祉センター 5 階 中会議室 テ ー マ：生活支援コーディネーターと協議体の効果的な活動～地域が元気になるための協議体～ アドバイザー：池田昌弘 氏 (全国コミュニティライフサポートセンター理事長)	会長・事務局長 71 名 (目標 80 名)
地域福祉リーダー養成講座	開 催 日：令和 2 年 2 月 19 日 会 場：市総合福祉センター 5 階 中会議室 演 題：「意味づけでさらに高まる地域力」 講 師：池田昌弘 氏 (全国コミュニティライフサポートセンター理事長)	援護部長・ 啓発調査部長 72 名 (目標 80 名)
地区社連会長・ 事務局長連絡会 〔研修会〕& 〔情報交換会〕	開 催 日：令和元年 12 月 19 日 会 場：ホテルマイステイズ松山 3 階 ドゥエミーラ テ ー マ：40 色で織り成す松山の地域づくり 講 師：恒吉和徳 氏 (聖カタリナ大学人間健康福祉学部教授)	会長・ 事務局長等 90 名 (目標 80 名)

イ.ブロック会議

項 目	内容等
開催回数	3 回
会 場	市総合福祉センター 5 階 中会議室等
延参加者数	86 名（目標 80 名）
内 容	情報交換等

ウ. 視察交流研修対応

受入団体	受入人数	内容等
熊本県合志市西部民児協	33 名	松山市社会福祉協議会の事業説明等
高知県高知市社会福祉協議会	6 名	地域福祉サービス事業説明等

（３）地域福祉活動啓発事業

【自主事業】

①広報啓発事業

社協だよりの発行や各種イベントへの参加のほか、facebook（SNS）を活用した広報活動等を通じて市社協及び事業の紹介を行うなど、より一層の啓発に努めた。

項 目	内容等
社協だよりの発行	年 2 回（約 243,000 部 / 1 回）
ラジオでのイベント・事業等紹介	年 4 回（南海放送「みんなの松山」）
横断幕の掲揚	市総合福祉センター壁面への掲揚 共同募金運動・日本赤十字社啓発用
木製クリップの作成 （ハートフルプラザ松山の商品）	300 個（共同募金運動・募金協力者等へ配布）
イベントへの参加協力	(1) リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2019 えひめ 10 月 5 日 職員参加 92 名 (2) みんなの生活展 10 月 19 日 職員参加 6 名 (3) 健康フェスタ in えひめ 2019 7 月 6 日・7 日 職員参加 4 名
ホームページの運営	(1) 松山市社会福祉協議会（127,240 件）（目標 127,500 件） (2) 松山市ボランティアセンター（13,857 件）（目標 15,000 件） (3) いきがい交流センターしみず（873 件）（目標 1,500 件） (4) まつやまバリアフリーマップ（5,396 件）（目標 4,500 件）
Facebook（SNS）への掲載	(1) 市社協活動や地域行事等の紹介（104 件）（目標 50 件）

②若草福祉まつり開催事業

福祉活動への理解促進やボランティア活動の拡充を図ることを目的として、市総合福祉センターを活動拠点とする福祉関係団体や本会への協力企業等が協働して、高齢者や障がい者・児童・ボランティア等広く市民を対象に「若草福祉まつり 2019」を開催し、イベントでのふれあい等を通じて世代間交流やコミュニケーションの促進に努めた。（＊総合福祉センター管理・運営事業（P21）に再掲）

③ふれあいフェスティバル（わかくさファミリーまつり）開催事業

幼稚園・保育園児から小学校低学年を対象としたイベントを開催し、家庭間、世代間等参加者の交流を通じて子ども達の「健やかな心、思いやる心」を醸成するとともに、関係団体、協力企業等の社会貢献活動の支援や市社協事業及び福祉活動への理解促進に努めた。

項 目	内容等
開催日	令和元年 8 月 24 日
会 場	市総合福祉センター 1 階 大会議室
参加者数	約 300 名（目標 800 名）
内 容	○映画コーナー（グリッチ）

④福祉サポートフェスタ開催事業

子どもから高齢者までの世代間交流やふれあいを通じて学習の場や福祉の情報提供を行い、福祉力の向上に努めるとともに、企業の参加・協力（協賛企業 11 社：社協会員）を促すことで連携・協働を深め、福祉活動への理解促進と企業の社会貢献活動の拡大に努めた。

項 目	内容等
開催日	令和元年 8 月 24 日
会 場	市総合福祉センター 1 階 ロビー・大会議室
参加者数	約 800 名（目標 800 名）
内 容	○協賛企業啓発コーナー（11 社） ○映画コーナー（グリッチ） ○特設ステージ（ファミリーコンサート・企業ステージ） ○体験コーナー（万華鏡、ハーバリウム等） ○相談コーナー（介護相談、住宅相談、年金相談、空き家管理相談等） ○お食事コーナー（フードトラック） ○スタンプラリー ○子ども服おさがり交換会 等

⑤北条社会福祉センターまつり（文化の森福祉まつり）開催事業

北条社会福祉センターを拠点として活動する各種団体（実行委員 18 団体・協力 7 団体・協賛 5 団体・出店 16 団体）が協働し、各種イベントやコーナーでのふれあいを通じて社会福祉協議会や福祉活動への理解促進、ボランティア活動の拡充に努めた。

項 目	内容等
開催日	令和元年 12 月 7 日
会 場	市北条社会福祉センター
参加者数	約 1,200 名（目標 1,500 名）
内 容	○ステージ発表（幼稚園児お遊戯） ○書道パフォーマンス ○バザー（飲食・販売コーナー） ○体験・相談コーナー ○作品展示コーナー ○お楽しみ抽選会 ○余剰品販売 ○メッセージバルーン 等

⑥愛媛マラソン直前清掃ボランティア活動

コース沿道の清掃ボランティア活動を通じて、実践機会の提供とボランティア相互の交流促進を図るとともに、企業の参加・協力を促進することで福祉活動や社会貢献活動の拡大に努めた。

項 目	内容等
開催日	令和2年2月1日
コース	市内中心部及び北条社会福祉センター周辺のコース沿道 *拠点を3ヶ所設置し、8コースに分かれての清掃活動
参加者数	198名（目標150名）

⑦障がい者理解啓発イベント開催事業

「障害者の日」にちなみ、障がい者の機能的・精神的に支えとなる補助犬についての講演会を開催するとともに、就労継続支援B型事業所（13事業所）による販売コーナーでのふれあいを通じて障がい者を支える地域活動の普及啓発の拡充に努めた。

項 目	内容等
開催日	令和元年12月21日
会 場	市総合福祉センター 1階 ロビー・大会議室 他
参加者数	約200名（目標400名）
内 容	○就労継続支援B型事業所の紹介及び販売コーナー ○障がいに関する相談コーナー ○食事コーナー 等

⑧キッズカレッジ ～みんなの居場所づくり～事業

ひとり親家庭や共働き家庭等であって、夏休み・冬休みの期間中、子どもだけで過ごす環境にある小学生を対象に、学習支援や異学年との交流、体験学習等を通じて、子どもの居場所づくりや保護者の不安・悩み解消の場づくりに努めた。

項 目	内容等
開催回数	7回（令和元年7月26日～令和2年1月6日）
開催時間	9：00～17：00（8：00から受入、18：00まで預り）
会 場	市総合福祉センター 5階 中会議室等
参加者数	児童30名（募集定員：30名） 専任スタッフ2名、ボランティアスタッフ延35名
カリキュラム	○マイボックスづくり ○愛大ミュージアムに行こう！ ○愛媛県庁見学 ○書き初めに挑戦！ ○陶芸に挑戦！ ○伊予銀行見学 ○愛媛新聞社見学 ○車掌体験 等

⑨防災・減災シンポジウム開催事業

【新規事業】

平成 30 年 7 月豪雨災害では松山市においても土砂災害等が発生し、11 地区にボランティアを派遣するなど、復興支援を行なった。また、近い将来、発生が懸念される南海トラフ地震においても甚大な被害が予想されていることから、災害に備えた知識を高め、考察する機会としてシンポジウムを開催し、防災・減災への住民意識の醸成に努めた。

項 目	内容等
開催日	令和元年 6 月 30 日
会 場	市総合福祉センター 1 階 大会議室・ロビー
参加者数	約 300 名（目標 400 名）
内 容	○テーマ 「我がまちの災は自分たちが防ぐ！」 ○基調講演 「西日本豪雨災害から学ぶ防災について～深めよう地域の絆 高め合おう地域の防災・福祉力～」 ○シンポジウム「西日本豪雨災害における地域・行政・社協の実践と今後の対応について」 ○防災グッズ・非常食・メッセージカード・松山市内の災害状況及びボランティア活動写真等の展示

⑩注文をまちがえる喫茶店プレ開催事業

認知症の方がホールで働く、「注文をまちがえる喫茶店」を 1 日限定で開催し、認知症の理解促進とまちがいを寛容に受入、「ま、いっか」の大らかな気持ちちがもてる福祉感の醸成と共生社会の推進に努めた。※令和 2 年度より新規事業として開始

項 目	内容等
開催日	令和 2 年 1 月 27 日（プレ開催）
会 場	漱石珈琲店「愛松亭」
参加者数	54 名（目標 54 名：18 名×3 部）

（４）地域交流支援事業

【自主事業】

①地域交流サロン等活動支援事業

高齢者・子育て中の保護者や障がい者、地域のボランティア等が自主的に立上げた地域交流サロン及び農園サロンに対し助成を行い、参加者相互の支え合いを助長することで不安・悩みの解消や子育てを支援するとともに、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう地域福祉の増進に努めた。

ア. 助成額

助成サロン数	助成総額	内容等
54 サロン （目標 85 サロン）	2,749,070 円	[交流] 1 サロン：1 開催 3,000 円（12 回を限度） [農園] 1 サロン：年間 40,000 円

イ. サロン活動状況

サロン	サロン数		実施回数	延利用者数	平均利用者数
高齢者サロン	38 サロン（目標 55 サロン）		591 回	11,384 名	19.3 名
子育てサロン	9 サロン	（目標 20 サロン）	118 回	2,503 名	21.2 名
障がい者サロン	1 サロン		21 回	384 名	18.3 名
合 計	48 サロン		730 回	14,271 名	19.5 名
農園サロン	6 サロン（目標 10 サロン）				

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月一部中止

②道後温泉浴衣活用事業

道後温泉や福祉関係団体と連携し、道後温泉本館の貸浴衣を再利用した製品の製作を行い、高齢者・障がい者等の就労支援や社会参加・生きがいを図るとともに、観光都市松山及び道後温泉のPR等に努めた。

項 目	内容等	販売数
松山トリコ 製 品	○おじゃみクッション	11 個
	○湯玉トートバック（Lサイズ・Sサイズ）	14 個
	○紙の湯カードケース（シングル・ダブル）	41 個
	○湯あがりコースター	208 個
	○湯あがりカバー	41 個

③福祉団体助成事業

福祉関係団体が実施する事業に対し助成を行うことにより、団体活動の支援に努めた。

助成団体数	助成額
11 団体（松山市障害者団体連絡協議会等）	430,000 円

④地域団体研修等車輛借上助成事業

地区社協・地区民協等関係団体が実施する研修や交流活動に対し、バス等借上料の一部助成を行うことにより団体を支援し、地域福祉活動の拡大に努めた。

助成団体数	助成額	内容等
84 団体（計画 100 団体）	1,639,820 円	1 団体上限 20,000 円

⑤子育て応援プロジェクト事業

「地域交流型キッズシネマ上映会実施事業」及び「こども服交換会開催事業」を統合するとともに、イベントとして「おもちゃ図書館」を実施するなど、子育て中の家庭がより一層参加しやすい交流の場づくりや柔軟な支援活動の充実に努めた。

実施日	実施内容	会 場
平成 31 年 4 月 18 日	キッズシネマ （子育て交流サロン行事と同時開催）	市総合福祉センター
平成 31 年 4 月 21 日	こども服交換会 （しみず祭りと同時開催）	清水小学校
令和元年 8 月 8 日	こども服交換会 （余土夏祭りと同時開催）	余土公民館

令和元年 8 月 20 日	キッズシネマ (子育て交流サロン行事と同時開催)	正岡公民館
令和元年 8 月 24 日	こども服交換会 (福祉サポートフェスタ・ふれあいフェスティバルと同時開催)	市総合福祉センター
令和元年 11 月 9 日・10 日	みんなのお店 〔ワークショップ・こども服交換会〕 〔ママ SHOP・プレおもちゃ図書館〕 (若草福祉まつりと同時開催)	市総合福祉センター
令和元年 11 月 21 日	キッズシネマ (子育て交流サロン行事と同時開催)	市総合福祉センター
令和元年 12 月 14 日	こども服交換会 (子育て交流サロン行事と同時開催)	余土公民館
令和 2 年 1 月 23 日	プレおもちゃ図書館	市総合福祉センター
令和 2 年 1 月 16 日	ワークショップ	市総合福祉センター

(5) 見守り支援事業

【自主事業】

①安心カードみまもり支援事業

高齢者や障がい者等に対しみまもり安心カード等を配布し、在宅での救命救急活動時における高齢者等の安全・安心を確保するとともに、要援護者の実態把握を通じて、潜在的・予防的ニーズの発見、孤立予防、みまもり支援体制の充実に努めた。

登録者数	活用事例
11,885 名 (新規: 585 名) (目標 11,250 名)	11 件 (累計 151 件: 平成 23 年 7 月から) [救命救急活動時の対象者傷病程度] 軽症 4 件、中症 6 件、重症 1 件、不搬送 0 件、死亡 0 件

②認知症高齢者 SOS ネットワーク事業 (通称「おまもりネット」)

携帯電話のメール機能を活用し、地域住民等 (メールアドレス登録者) の協力を得て、徘徊等によって行方不明となった高齢者の早期発見・保護に努めた。

検索協力者登録数		高齢者登録数	実施件数
個人	1,452 名 (新規: 63 名)	420 名 (新規: 88 名)	捜 索 依 頼 14 件 メー ル 配 信 12 件 (配信累計 65 件: 平成 25 年度から)
企業・団体	303 団体 (新規: 23 団体)		

4 相談支援事業

(1) 生活困窮者自立相談支援事業

【市受託事業】

松山市役所に設置されている福祉・子育て相談窓口で職員を派遣し、生活困窮者からの相談に応じ、関係機関との連絡調整等を図りつつ、生活全般にわたる包括的な支援に努めた。

項 目		対応件数等	内容等
新規相談受付件数（総数）		838 件	来所、電話、訪問・同行等による相談、支援調整会議等含む
継続相談件数		5,627 件	
延相談件数（総数）		6,465 件	
支援計画（プラン）作成件数（総数）		208 件	支援調整会議 195 回
就労支援対象者数 （プラン期間中の一般就労を目標にしている）		167 名	1 つの支援計画（プラン）作成において、住居確保給付金、就労支援、生活福祉資金等の重複を含む
法に基づく事業等 利用件数	住居確保給付金	19 件	
	一時生活支援事業	14 件	
	就労準備支援事業	3 件	
	自立相談支援事業による就労支援	156 件	
その他	生活福祉資金等による貸付	36 件	
	生活保護受給者等就労自立促進事業	144 件	
一般就労者数		111 名	プラン未作成者 10 名を含む。
増収者数		4 名	

(2) 障がい者総合相談窓口事業

【市受託事業】

松山市役所に設置されている福祉・子育て相談窓口で職員を派遣し、身体・知的・精神障がい者及び障がい児の保護者または介護者からの相談や発達・高次脳機能障がい・難病患者等の相談に応じ、相談者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう支援・助言を行い課題解決に努めた。

ア. 相談件数（相談方法分類）

	訪問	来所 相談	同行	電話 相談	電子 メール	個別 支援会議	関係 機関	その他	合 計
延件数	217 件	992 件	353 件	1,930 件	395 件	25 件	2,498 件	14 件	6,424 件

*その他は障害手帳を保持していない相談者

イ. 支援内容

() 内は解決に至った件数

	福祉サービスの利用等	障がいや 病状の理解	健康・医療	不安の解消・ 情緒安定	保育・教育	家族関係・ 人間関係	家計・経済
延件数	2,621 件 (2,621)	67 件 (67)	232 件 (232)	1,337 件 (1,337)	16 件 (16)	51 件 (51)	816 件 (816)

	生活技術	就 労	社会参加・ 余暇活動	権利擁護	その他	合 計
延件数	224 件 (224)	83 件 (83)	13 件 (13)	35 件 (35)	929 件 (929)	6,424 件 (6,424)

ウ. 研修会の開催

研修会名	開催回数 / 会場 / 内容等	参加者等
松山市障がい者虐待防止等研修会	開催回数：4回（令和元年8月13日、8月19日、9月2日、9月12日） 会場：市総合福祉センター 5階 中会議室 テーマ：①「虐待の防止と早期の対応について考える」 ②「チームで取り組む虐待防止のいろは」 ～権利擁護の視点を踏まえて～ 講師：武田幸雄 氏（愛媛県社会福祉士会） 渡部隆介 氏（愛媛県社会福祉士）	市内障がい者福祉サービス事業所職員 延 240 名 （目標 250 名）
松山市発達障がい者就労支援研修会	開催回数：1回（令和元年12月21日） 会場：市総合福祉センター 1階 大会議室 講演：「成人期の発達障害者の自立に向けて」 講師：広野ゆい 氏（当事者）	一般企業、地区社協・民協、医療・教育・福祉関係者等 190 名 （目標 250 名）
松山市障がい者差別解消法研修会	開催回数：2回（令和2年1月30日・2月26日） 会場：市総合福祉センター 5階 中会議室 テーマ：「障がい者差別の解消をすすめるにあたって」 講師：近藤益代 氏（聖カタリナ大学人間健康福祉学部 講師）	市内障がい者福祉サービス事業所職員 延 83 名 （目標 100 名）

（3）福祉サービス利用援助事業

【県社協受託事業】

判断能力に不安のある認知症高齢者、知的・精神障がい者などを対象に、生活支援員及び専門員が関係機関と連携・協働し、福祉サービス利用の相談や手続代行、日常的な金銭管理等を行い、権利擁護及び生活の質の向上に努めた。

ア. 契約件数

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合 計
件数	2 件 〔 新規 1 件 〕 〔 終了 4 件 〕	24 件 〔 新規 3 件 〕 〔 終了 1 件 〕	49 件 〔 新規 6 件 〕 〔 終了 10 件 〕	6 件 〔 新規 0 件 〕 〔 終了 0 件 〕	81 件 〔 新規 10 件 〕 〔 終了 15 件 〕

*〔 〕 は、令和元年度新規契約及び契約終了件数

イ. 生活支援員活動状況

生活支援員登録者数	延活動回数	延活動時間数
12 名	1, 427 回	1475. 5 時間

(4) 福祉資金貸付事業

【県社協受託事業】

低所得者、障がい者又は高齢者世帯に対し、経済的自立及び生活意欲の助長促進を図るため、家計再建支援として他制度も含め必要な援助指導を行うとともに、生活困窮者自立相談支援事業と連携した効果的な相談支援に努めた。

申請内容	相談件数	申請件数
(1)総合支援資金 ・生活支援費 ・住宅入居費(敷金・礼金) ・一時生活再建費	51 件	1 件 0 件 0 件
(2)福祉資金 ・福祉費 ・緊急小口資金	1,168 件	3 件 131 件 (うち、コロナ特例 93 件) ※3月25日～31日分
(3)教育支援資金 ・教育支援費、就学支度費	180 件	7 件
(4)不動産担保型生活資金 ・一般世帯向け ・要保護世帯向け	118 件	0 件 1 件
(5)その他(償還猶予申請等)	—	10 件
(6)臨時特例つなぎ資金	2 件	0 件
合 計	1,519 件	153 件

(5) 聴覚総合支援事業

①聴覚総合相談事業

【市受託事業】

手話通訳や要約筆記の専門的知識と技術を持つ職員が市内に居住する聴覚障がい児者とその家族及び関係者等からの相談に応じ、聴覚障がい者等が自分に誇りを持ち一社会人として地域の中で生活していけるよう地域・社会へ働きかけを行うとともに、松山市等の関係機関と連携を取りながら総合的支援に努めた。

ア. 相談対応件数(連絡調整含む)

	来所	電話・Fax	電子メール	その他	合計
延件数	1,862 件	4,497 件	4,309 件	242 件	10,910 件

イ. 支援内容(連絡調整含む)

	福祉サービスの利用等	障がいや病状の理解	健康・医療	不安の解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係
延件数	2,034 件 (2,034)	7 件 (7)	239 件 (239)	70 件 (70)	9 件 (9)	54 件 (54)

	家計・経済	生活技術	就 労	社会参加・余暇活動	権利擁護	手話・要約筆記関係
延件数	196 件 (196)	769 件 (769)	46 件 (46)	252 件 (252)	2 件 (2)	588 件 (588)

	登録通訳者	啓発活動	通訳者を紹介	その他	合計
延件数	3,597 件 (3,597)	143 件 (143)	2,810 件 (2,810)	94 件 (94)	10,910 件 (10,910)

* () 内は解決に至った件数

ウ. 啓発活動

内容等	回 数	参加者数
松山市女性消防団手話講習会	12 回	98 名

エ. 講演会等の主催者が通訳料を負担する場合に通訳者（手話・要約筆記）を紹介

項 目	内容等
紹介人数	924 名
内 容	松山市福祉大会、愛媛県社会福祉大会、松山市人権啓発フェスティバル、愛媛県精神保健福祉大会、愛媛弁護士会シンポジウム、市民医学セミナー、愛媛マラソン、県医師会公開講座、聖カタリナ大学、愛媛大学、松山大学、愛媛障害フォーラム、権利擁護市民セミナー、コムズフェスティバル他

オ. 聴覚障がい者無料法律相談会

愛媛弁護士会から弁護士の派遣協力を得て、情報・コミュニケーション不足のため法的トラブルを抱えながらも法律の専門家に繋がるのが困難となっている聴覚障がい者に、意思疎通支援に配慮した身近な相談窓口を提供することで聴覚障がい者の福祉の増進に努めた。

行事名	開催回数 / 会場	延相談者数
無料法律相談会 (弁護士)	開催回数：3 回（令和元年 10 月 27 日・ 12 月 16 日・令和 2 年 3 月 2 日） 会 場：市総合福祉センター 5 階 相談室	9 名（9 ケース）

②手話通訳者設置事業

【市受託事業】

松山市役所別館福祉総合窓口到手話通訳者を設置し、聴覚障がい者等の福祉の増進を図るため、聴覚障がい者等と各課職員の意思疎通の支援に努めた。

内 容	身体 障害 者手 帳等	補 装 具 等	日 常 生 活 用 具 等	障 害 福 祉 サ ー ビ ス	介 護 保 険	生 活 保 護	医 療 保 険	年 金 手 当	就 労	教 育	住 居	税	窓 口 手 続 証 明 等	窓 口 手 続 証 明 以 外 等	相 談	そ の 他	合 計
件 数	28 件	13 件	43 件	20 件	17 件	8 件	84 件	76 件	5 件	0 件	18 件	55 件	24 件	240 件	74 件	263 件	968 件

③意思疎通支援事業

【市受託事業】

聴覚障がい者等の社会生活における意思疎通を円滑にし、社会参加を促進するため手話通訳者・要約筆記者の派遣に努めた。

ア. 登録手話通訳者・要約筆記者の派遣

	個人に対する派遣										大会等派遣	合計
内 容	介 護 保 険	医 療	公 的 機 関	学 校	大 会 行 事	研 修 ・ 講 座	障 害 者 総 合 支 援 法	冠 婚 葬 祭	そ の 他	小 計		
件数 (名)	3,243件 (3,243名)	2,831件 (2,831名)	134件 (134名)	54件 (54名)	39件 (39名)	59件 (59名)	26件 (26名)	14件 (14名)	519件 (519名)	6,919件 (6,919名)	68件 (177名)	6,987件 (7,096名)

イ. 登録手話通訳者・要約筆記者研修会の開催

項 目	内容等
開催回数	11回（平成31年4月15日～令和2年2月17日） ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため1回中止
会 場	市総合福祉センター 5階 中会議室等
内 容	「意思疎通支援制度」「実技研修」「どう表現する?」「対人援助」 「模擬通訳」「介護保険・認定調査」「意見交換」等
延参加者数	314名（目標 360名）

ウ. 登録通訳者の健康診断の実施

頸肩腕障害を予防することを目的として、登録手話通訳者・要約筆記者の健康診断を実施した。

項 目	内容等
期 間	令和2年2月4日～27日
受診者数	28名（手話通訳者19名、要約筆記者3名、手話・要約筆記者6名）

④意思疎通支援者養成事業

【市受託事業】

ア. 養成講座の開催

聴覚障がい者等の福祉に理解と熱意のある者を対象に、手話通訳者・要約筆記者を養成するため各種講座を開催し、手話通訳や要約筆記の知識と技術の習得や倫理の指導に努めた。

講座名		開催回数	修了者数
手話通訳者養成講座	基礎フォローアップ講座	午前 40回 ・ 夜間 40回	午前 16名 ・ 夜間 12名
	手話通訳Ⅰ	午前 39回 ・ 夜間 39回	午前 15名 ・ 夜間 11名
	手話通訳Ⅱ	午前 36回 ・ 夜間 36回	午前 5名 ・ 夜間 9名
	手話通訳Ⅲ	午前 16回 ・ 夜間 16回	午前 8名 ・ 夜間 24名
要約筆記者養成講座(手書き・パソコン)		午前 44回 ・ 夜間 41回	午前 8名 ・ 夜間 1名

イ. 全国統一要約筆記者認定試験の実施

要約筆記者養成講座の修了者（見込み含む）に対し、全国統一要約筆記者認定試験を実施することにより登録通訳者の確保に努めた。

項 目	内容等
開 催 日	令和 2 年 2 月 16 日
会 場	市総合福祉センター 5 階 中会議室等
受験者数	6 名（内合格者 1 名）

⑤聴覚障がい者等生活訓練事業

【市受託事業】

在宅の聴覚障がい者等に対し、日常生活に必要な知識や技術を身に付けるための訓練や指導を行うことにより、住み慣れた地域における生活能力を高め、社会参加の促進に努めた。

行事名	開催回数 / 開催期間 / 内容等	延利用者数
生活支援訪問	訪問回数：142 回 訪問期間：平成 31 年 4 月 1 日 ～令和 2 年 3 月 31 日 内 容：制度の情報提供や生活支援 等	519 名 （目標 300 名）
中途失聴者・ 難聴者の手話 講座	開催回数：昼の部 38 回・夜の部 38 回 開催期間：平成 31 年 4 月 16 日 ～令和 2 年 2 月 25 日 内 容：手話学習と仲間づくり、くらしに関する手話、冠婚 葬祭に関する手話 等 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため 2 回中止	676 名 （目標 700 名）
くらし セミナー	開催回数：9 回 開催期間：令和元年 5 月 21 日 ～令和 2 年 2 月 18 日（9 回） 内 容：福祉制度について、文章の書き方、法律相談、介護 について、食中毒の豆知識等 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため 1 回中止	158 名 （目標 300 名）

【 公益事業 】

1 センター管理・運営事業

(1) 総合福祉センター管理・運営事業

【市受託・指定管理事業】

松山市における福祉活動の拠点施設として、福祉関係者等へ会議室の貸出や施設の維持管理を行うとともに、ボランティアグループや福祉関係団体・行政等との協働により福祉人材の育成、情報の収集・発信、高齢者や障がい者等の社会参加の促進を目指して施設の管理・運営に努めた。

ア. 利用状況

延利用団体数	延利用人数	内容等
7,818 団体 (目標 8,800 団体)	195,487 名 (目標 220,000 名)	施設見学 2 団体 42 名 有料利用 9 件 415 名

イ. 社会福祉啓発事業（福祉講習会）の開催

行事名	開催日 / 会場 / 内容等	参加者
地域福祉活動推進 講演会	開催日：令和元年 7 月 10 日 会 場：市総合福祉センター 1 階 大会議室 演 題：「ふだんの支え合いこそが地域のお宝」 講 師：池田昌弘氏（全国コミュニティライフサポートセンター理事長）	380 名 (目標 250 名)
認知症に関する講演会	開催日：令和元年 10 月 19 日 会 場：市総合福祉センター 1 階 ロビー 内 容：「認知症サポーターズカフェ」 ※ラン伴 2019 同開催	80 名 (目標 250 名)
まつやま優秀映画鑑賞 推進事業 (懐かしの名画劇場 2019)	開催日：令和元年 10 月 26 日 会 場：市総合福祉センター 1 階 大会議室 内 容：①稲妻 ②にごりえ ③伊豆の踊子 ④華岡青洲の妻	1,188 名 (目標 1,200 名)

ウ. 若草福祉まつり開催事業

福祉活動への理解促進やボランティア活動の拡充を図ることを目的として、市総合福祉センターを活動拠点とする福祉関係団体や本会への協力企業等が協働して、高齢者や障がい者・児童・ボランティア等広く市民を対象に「若草福祉まつり 2019」を開催し、イベントでのふれあい等を通じて世代間交流やコミュニケーションの促進に努めた。

開催日	令和元年 11 月 9 日	令和元年 11 月 10 日
内 容	○ボランティア団体発表会 ○余剰品販売コーナー ○ものづくり体験・おもちゃ図書館・子ども服おさがり交換会・似顔絵エコバック ○お茶席 ○折り紙教室 ○高齢者等人権安心相談コーナー ○楽しく脳トレーニング 等	○映画「それいけ！アンパンマン きらめけ！アイスの国のパニラ姫」上映 ○ものづくり体験・おもちゃ図書館・子ども服おさがり交換会・似顔絵エコバック ○マッサージコーナー ○携帯ホワイトボード作り ○車いす体験 ○お楽しみ抽選会 等
	○障がい・権利擁護相談 ○食べ物・販売・お食事コーナー ○要約筆記・手話体験 ○スタンプラリー	○障がい者団体バザー ○サロン事業作品展示 ○朗読・点字を学ぼう ○各種団体による展示コーナー 等
来館者数	延 3,900 名（目標 4,000 名）	
広 告	51 団体・企業（広告収入：330,000 円）	
参加団体	55 団体（ボランティア・福祉団体等）	

オ. 福祉ライブラリーの貸出

高齢者や障がい者及び福祉関係者等へ福祉関係の書籍等の貸出しを行うことにより、福祉情報の提供、人材育成、地域福祉活動の推進に努めた。

内 容	書 籍	点字書籍	ビデオ	カセット	DVD	合 計
保 管 数	2,361 冊	187 冊	1,541 本	281 本	135 枚	4,505 点
貸出件数	27 件	1 件	109 件	70 件	21 件	228 件

カ. ロビー展等

市総合福祉センターロビー等の有効活用を図り、福祉に対する理解者の拡大に努めた。

実施内容		実施期間等
ロビー展等	ア. 発達障がい関係団体活動紹介パネル展示	平成 31 年 4 月 2 日～平成 31 年 4 月 8 日
	イ. 我がまちの災いは自分たちが防ぐ！	令和元年 6 月 7 日～令和元年 8 月 1 日
	ウ. 災害ボランティア活動 DVD 放映	令和元年 6 月 21 日～令和元年 8 月 1 日
	エ. 赤い羽根共同募金ポスター展示他	令和元年 10 月 1 日～令和 2 年 3 月 26 日
	オ. 人権啓発標語ポスター絵手紙入選作品展示	令和元年 12 月 9 日～令和元年 12 月 13 日
	カ. 防災とボランティア週間パネル展示他	令和 2 年 1 月 14 日～令和 2 年 1 月 31 日
	キ. 骨髄バンク啓発パネル展示	令和 2 年 2 月 1 日～令和 2 年 2 月 28 日
	ク. 骨髄バンクドナー登録会	令和 2 年 2 月 25 日
募金箱の設置	ア. 日赤活動資金募集募金箱設置	平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日
	イ. 共同募金募金箱設置	令和元年 10 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日
	ウ. 台風第 15 号災害義援金募金箱設置	令和元年 9 月 18 日～令和元年 10 月 15 日
	エ. 台風第 19 号災害義援金募金箱設置	令和元年 10 月 16 日～令和 2 年 3 月 31 日
その他	ア. ご意見箱の常設（1 階・4 階・5 階）	平成 31 年 4 月 1 日～（平成 19 年 8 月 1 日設置）
	イ. 東日本大震災支援ベルマーク収集箱設置	平成 31 年 4 月 1 日～（平成 23 年 9 月 1 日設置）
	ウ. 市総合福祉センターのライトアップ ①世界自閉症啓発デー（ブルー） ②世界アルツハイマーデー（オレンジ）	①平成 31 年 4 月 2 日 ②令和元年 9 月 21 日

（2）地域福祉支援システム管理運営事業

【市受託事業】

市総合福祉センターを拠点とした各種福祉活動を支援するため福祉情報を一元管理し、より有効なサービスの提供を目的として構築したシステムの維持・管理に努めた。

設置台数	システム登録数		
	個 人	団 体	企 業
37 台	55,263 名	1,957 団体	1,476 社

（3）番町福祉センター管理事業

【市補助事業】

高齢者や福祉関係者等の社会参加や福祉活動の推進を図るため、活動の場として会場を提供した。

ア. 利用状況

延利用団体数	延利用者数
292 団体（目標 300 団体）	1,856 名（目標 3,000 名）

(4) 北条社会福祉センター管理運営事業

【市補助事業】

北条地域の福祉活動の拠点施設として、高齢者等の福祉増進や福祉活動の推進を目指して施設の管理・運営に努めた。

ア. 利用状況

延利用件数	延利用者数
2,518 件	15,810 名（目標 16,000 名）

(5) いきがい交流センターしみず管理運営事業

【市受託事業】

小学校の余裕教室等を活用し、高齢者に対し社会的孤立感の解消と心身機能の向上を図るとともに、清水地区を中心とした住民の主体的運営による福祉・文化・レクリエーション等の学習及び異世代交流事業等を実施し、福祉・学習コミュニティの形成と学社融合に努めた。

ア. 地域交流事業

項 目	対 象	開催回数	延参加者数
友遊しみず (月・木曜日 10:00～15:00)	介護保険対象外の概ね 65 歳以上の方	79 回 (目標 90 回)	1,079 名 (目標 1,500 名)
交流授業	清水小学校児童	50 回 (目標 50 回)	3,600 名
地域交流イベント (清水小ふれあいバザーへ参加)	清水小学校児童・保護者等	1 回	70 名 (目標 80 名)
しみずサポートボランティア の活動	大学生等	187 回	474 名

※友遊しみずは新型コロナウイルス感染拡大防止のため 11 回中止

イ. 講座等の開催

行事名	開催回数 / 会場 / 内容等	延参加者数
シニアライフ 講座	開催回数：9 回（令和元年 5 月 22 日～7 月 10 日） 会 場：いきがい交流センターしみず 内 容：介護保険制度、財産管理と遺言、認知症、介護者のストレスケア、成年後見制度、終活等について 9 テーマ	152 名 (目標 180 名)
シニアのための タブレット 講座	開催回数：7 回（令和元年 12 月 13 日～令和 2 年 2 月 21 日） 会 場：いきがい交流センターしみず 内 容：基本操作、Wi-Fi の仕組みと設定、カメラでの撮影及び編集、インターネットの活用、LINE 等	60 名 (目標 80 名)

ウ. 視察対応

受入団体	受入人数	内容等
6 団体（高知市大津地区民協、真庭市北房支部民協、昭島市自民党市議団、大洲市肱川・河辺地区民協等）	73 名	事業概要、地区社協・小学校との協働・連携、児童と高齢者・地域住民との交流等について

(6) 活動拠点整備事業

企業及び関係団体等と連携して活動拠点の整備を図り、地域支援体制整備の強化及び要介護認定訪問調査事業における調査業務の効率化に努めた。

拠 点	内容等
えひめ中央農業協同組合桑原支所 1 階	地区関係団体等との連携強化

2 地域生活支援事業

(1) 高齢者等支援事業

①愛の一声訪問事業

【市補助事業】

77歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、原則として週2回乳酸菌飲料を訪問配付し、安否の確認や不慮の事故防止及び社会的孤立の解消に努めた。

実利用者数	延訪問回数	新規申請者数	安否確認件数
3,554名	255,547回	482名	423件

②在宅ねたきり高齢者理容サービス事業

【市補助事業】

在宅のねたきり高齢者を対象に、利用券方式により年4回の出張理容サービスを実施（県理容生活衛生同業組合松山・古町・北支部）し、保健衛生の向上と介護者の負担の軽減に努めた。

利用券交付者数	延利用者数	新規申請者数
9名	25名	2名

③配食サービス事業

【市補助事業】

在宅で食事の調理等が困難な高齢者や障がい者の世帯を対象に、1日1食（昼又は夕）の食事サービスを提供し、利用者の心身の負担軽減や安否確認を行うとともに、栄養バランスのとれた食事を提供（配食業者9社）することにより、高齢者や障がい者の健康増進及び福祉向上に努めた。

実利用者数（3月現在）	延配食数	新規申請者数
608名	155,243食	319名

④福祉機器貸出事業

【市補助事業】

在宅で介護を受けている64歳以下の身体障害者手帳所持者を対象に、レンタル方式（レンタル業者9社）により福祉機器を貸し出し、介護者の負担と費用負担の軽減及び要援護者の自立向上に努めた。

電動ベッド	車いす	床ずれ予防マット
9件	4件	4件

＊令和元年度は新規申請3件、返却3件

(2) 介護予防促進事業

①ふれあい・いきいきサロン活動支援事業

【市受託事業】

65歳以上の高齢者が心身機能の維持向上および介護予防を目的に、公民館や集会所等の歩いて通える拠点に月2回以上集い、介護予防メニューを行う自主的なサロン活動の支援に努めた。

ア. 規模別サロン数

回数 \ 規模	小規模	中規模	大規模	基幹型	合計
月2回	51	55	4	0	110ヶ所
月3回	5	12	1	0	18ヶ所
週1回	18	26	1	0	45ヶ所
週2回	2	3	0	1	6ヶ所
週3回以上	0	0	0	1	1ヶ所
合計	76	96	6	2	180ヶ所

イ. 活動状況

サロン活動登録者数（65 歳以上）	5,299 名
延べサロン開催回数	5,697 回
延べサロン参加者数	102,538 名
サロン活動登録者数（65 歳以上）	(95,855 名)
サロン参加者数（64 歳以下）	(6,683 名)

ウ. してみる測定実施状況

測定メニュー	①開眼片足立ち（体力測定） ②手がかり再生（脳トレーニング測定）＊①②どちらかの測定のみも可能
実施サロン数	176 サロン
延べ実施者数	2,660 名（①②両方：2,205 名 / ①のみ：144 名 / ②のみ：302 名）

エ. 研修会等の開催

内 容	開催回数 / 会場	参加者等
ふれあい・いきいきサロン 交流会	開催回数：2 回（令和元年 10 月 13 日・11 月 13 日） 会 場：北条社会福祉センター 2 階大会議室 市総合福祉センター 1 階大会議室	189 名 （目標 160 名）
わたしたちサロンの工夫 しているところ	開催回数：1 回（令和 2 年 2 月 20 日） 会 場：北条社会福祉センター 2 階大会議室 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため 1 回中止	85 名 （目標 450 名）

オ. 離島介護サービス対策事業

公共交通機関の利用が不便な釣島（興居島地区）と安居島（北条地区）に在住している要介護者等に対し、健康管理・健康相談等を行うボランティア活動の支援に努めた。

離 島	回数（予定）	延利用者数	平均利用者数	実施内容
釣 島	8 回（8 回）	87 名	10.8 名	介護サービス相談、介護予防レクリエーション、健康相談・介護相談、健康体操、健康等に関する講話 等 協力：医療法人・社会福祉法人
安居島	7 回（8 回）	27 名	3.8 名	

カ. まちなかサロン実施状況

開催回数	80 回
延べサロン参加者数	1,441 名
65 歳以上の参加者数	(1,410 名)
64 歳以下の参加者数	(31 名)

キ. サロン経理調査

実施箇所	市内全サロン 178 サロン
調査期間	平成 31 年 4 月 1 日 ～ 令和元年 7 月 31 日

ク. 広報啓発等

啓発方法	回数等
「ふれあい・いきいきサロン通信」の発行	4 回（1,500 部 サロン関係者等への送付）

ケ.活動機材の貸出

貸出機材	保有数	貸出件数
レクリエーション用具等	91 種類 467 個	248 件
プロジェクター・DVD 等	33 タイトル 94 枚	140 件

②松山健康づくり体操教室事業

【自主事業】

高齢者を対象に体操教室を実施し、運動機能の維持向上や介護予防及び日常生活における安定した生活の持続に努めた。

項 目	内容等
開 催 回 数	74 回（令和元年 5 月 10 日 ～ 令和 2 年 2 月 21 日） ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため 6 回中止
会 場	市総合福祉センター 1 階 大会議室
延参加者数	3,906 名（目標 4,000 名）

③まつやまシニアカレッジ事業

【自主事業】

大学との協働により高齢者向けの講義カリキュラムを組み、キャンパスライフの実体験を通じて、介護予防の意識付けや知識の習得、相互交流を行うとともに、受講者のボランティア活動や地域福祉活動への参加促進に努めた。

項 目	内容等
開催回数	10 回（令和元年 5 月 10 日 ～ 令和 2 年 2 月 7 日）
内容等	○ワークショップ（学生との交流授業） ○ボランティアウィーク ○大学祭（余剰品バザー参加） ○校外学習・交流会（高知県梹原町）
会場・共催	聖カタリナ大学
延参加者数	419 名（目標 500 名）

④北条文化の森いきいき講座事業

【自主事業】

北条圏域の地域福祉拠点である「北条社会福祉センター」を活用し、参加者の生きがいや健康づくりを図るとともに、北条文化の森健康づくり体操教室では高齢者の身体機能の維持向上や、介護予防及び自立性を高めた日常生活の維持や社会参加の促進に努めた。

行事名	開催回数 / 会場 / 内容等	延参加者数
北条文化の森 いきいき講座事業	開催回数：5 回（令和元年 9 月 5 日～令和 2 年 1 月 31 日） 会 場：北条社会福祉センター 2 階 大会議室 内 容：セルフ腸もみマッサージ・脳トレと体操健康法 目・耳・指ヨガ体操・家庭でできる自立整体等	84 名 （目標 180 名）
北条文化の森 健康づくり体操 教室事業	開催回数：38 回（平成 31 年 4 月 24 日～令和 2 年 2 月 26 日） 会 場：北条社会福祉センター 2 階 大会議室 内 容：マットやボール等を使った体操、健康指導、血 圧測定、体力測定等 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部中止	2,055 名 （目標 1,700 名）

3 調査・評価支援事業

(1) 要介護認定等訪問調査事業

松山市及び他市町村等からの委託により、要介護及び障害支援区分の認定を受けようとする申請者を調査員が訪問面接し、心身の状況や置かれている環境等の調査（障害支援区分認定調査はサービス利用意向の聴取を含む。）を実施するとともに、医師の意見書等の送付・回収を行い、公正で適正な認定に努めた。

調査内容	申請件数	実施件数	完了件数
① 要介護認定訪問調査事業 【市受託事業】	27,358 件	26,186 件	26,453 件
② 生活保護受給者身体状況訪問調査事業【市受託事業】	150 件	140 件	140 件
③ 住所地特例認定訪問調査事業【他市町村等受託事業】	829 件	767 件	767 件
④ 障害支援区分認定調査事業 【市受託事業】	1,508 件	1,511 件	1,511 件

*申請・実施・完了件数の相違については、年度末申請分の調査が次年度実施となるため

(2) 社会福祉施設等支援事業

①介護サービス事業者調査事業

【市受託事業】

介護サービス事業所における介護従業者の定着化を図ることを目的に、介護サービス事業所や介護従業者が抱えている課題、実態把握等における調査や人材育成に資する研修を実施するなど、介護サービスの質の向上に努めた。

ア. 介護サービス事業所を中心に訪問等でアンケート調査（事業所の課題や職員の処遇等）

依頼対象施設	設置数	延訪問回数
通所介護	128 施設	26 回
グループホーム	123 施設	38 回
地域密着型通所介護	84 施設	33 回
小規模多機能型居宅介護	54 施設	15 回
複合型サービス	4 施設	2 回
合 計	393 施設	114 回

イ. 運営推進会議等への参加

会議名	参加回数
運営推進会議（グループホーム等の地域密着型サービス事業）	58 回

ウ. 集団研修等の開催

研修名	開催日 / 会場 / 内容等	延参加者数
集団研修	- 施設長・管理者・リーダー研修会 - 日時 令和元年 11 月 20 日 - 場所 松山市総合福祉センター 5 階 中会議室 - 演題 「管理者研修」～人材確保は人材定着から～ - 生活支援型訪問サービス従事者養成研修 - 日時 I 令和 2 年 1 月 17 日 - II 令和 2 年 1 月 24 日 - 場所 松山市総合福祉センター 5 階 中会議室 - 講師 松山市介護保険課	70 名 (目標 100 名)

出前講座	・介護職員スキルアップ研修Ⅰ 日時 令和元年8月14日 場所 松山市ハーモニープラザ 3階 多目的室1 演題 「接遇向上・虐待防止」 ・介護職員スキルアップ研修Ⅱ 日時 令和元年9月4日 場所 済生会松山特別養護老人ホーム 会議室 演題 「認知症って？」 ・介護職員スキルアップ研修Ⅲ 日時 令和元年10月11日 場所 浮穴公民館 大会議室 演題 「ご気楽、認知症ケア！」	132名 (目標 130名)
ケアプラン 研修	・第1回 ケアプラン研修会 日時 令和2年2月17日 場所 松山市北条社会福祉センター 2階 大会議室 演題 「医療連携」～医療ニーズ把握の基本の“キ”～ ・第2回 ケアプラン検討会 日時 令和2年3月6日 場所 松山市総合福祉センター 5階 中会議室 演題 「施設アセスメントとケアプランの基本の“キ”」 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	83名 (目標 190名)

②ケアプラン評価等事業

【市受託事業】

圏域内事業所からの事例提供をもとに地域包括支援センター単位で検討会を毎月開催し、検討委員に主任介護支援専門員のほかに医療や看護、リハビリの専門職を加えるとともに、事例にある要介護者等との面談を通して状態を詳細に把握することでより高度で多面的な検証・助言を行い、またサービス事業所の参加を得て情報共有化の必要性を再認識することで、介護支援専門員のケアプラン作成能力の向上に努めた。

項 目	内容等
開催回数	11回（平成31年4月23日～令和2年2月27日） ※3月開催中止
検討委員	5名（主任介護支援専門員3名、医療・看護の視点を有する委員1名、リハビリの視点を有する委員1名）
評価対象 ケ ー ス	32ケース（松山市地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所） ※松山市地域包括支援センターから1名と2ヶ所の事業所から各1名の計3名に依頼
主な検証 内 容 等	・利用者のアセスメントによる正確な生活状況の把握と記載方法 ・インフォーマルサービスも含めた個別性のある自立支援に向けたケアプラン作成 ・利用者の思いを反映した具体的な目標設定 ・病状悪化や疾病予防のための生活改善に向けた支援や医療との連携方法 ・利用者へのサービス事業所選択時における情報の提示や事業者への説明の徹底等 ・サービス提供事業所との情報共有やケアプランと個別サービス計画書との整合性

③介護相談員派遣事業

【市受託事業】

施設等の介護サービスが提供されている場へ介護相談員を派遣し、利用者の日常的な不平、不満、疑問等の相談に応じるとともに、利用者の生活の観察やサービス提供事業所におけるサービスの実態を把握し、問題の発見や提起、解決策の提案等を通じて、苦情を未然に防ぎ、介護サービスの質的向上を図った。また、相談活動に必要な知識・技術を習得するための養成研修を開催するなど介護相談員の資質向上に努めた。

ア. 実施状況

施設数	訪問回数	延派遣相談員数	相談件数
10 施設（新規 7 施設含む）	108 回	216 名	300 件

イ. 現任介護相談員研修（初級・中級）への参加

開催日等	内容等
開催日 令和元年 7 月 4 日（初級） 会 場 県総合社会福祉会館 主 催 愛媛県社会福祉協議会 参加者 12 名（介護相談員）	行政説明 「介護保険制度と介護相談員の役割」 講 義 「高齢者の心理と理解」 「施設サービスの理解 ～今現場で起こっていること～」 演 習 「コミュニケーション技術とトレーニング」
開催日 令和元年 10 月 8 日（中級） 会 場 県総合社会福祉会館 主 催 愛媛県社会福祉協議会 参加者 2 名（介護相談員）	行政説明 「介護保険制度と介護相談員の役割」 講 義 「認知症の正しい理解」 活動事例 「介護相談員活動の取り組み」 報 告 「介護相談員活動について」 「介護相談員を受け入れて」 演習情報 「介護相談員活動における課題」

ウ. 介護相談員連絡会の開催

開催日等	内容等
開催日 令和 2 年 3 月 16 日 令和 2 年 3 月 19 日 会 場 市総合福祉センター 参加者 18 名 （活動中の介護相談員）	・現状と来年度の活動について事務局より報告 ・グループワーク（意見交換） ・その他 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

4 権利擁護センター事業

（1）権利擁護センター運営事業

【市受託事業】

認知症や知的・精神障がい等により判断能力が不十分な方に対し、状態に応じた包括的な相談・支援を実施し、各関係機関との連携により、地域生活を支える権利擁護支援体制の強化に努めた。

ア. 主な活動

内容等	相談件数
成年後見利用支援業務（専門相談、申立支援）	440 件
成年後見活動支援業務（後見人サポート、啓発・研修）	34 件
内 訳	延回数 延参加人数
出張相談会・研修会の開催	9 回 470 名
講師派遣・会議参加等	25 回 944 名
パンフレット配布部数	4,825 部

イ. 専門職無料相談会の開催

項 目	開催回数	相談件数
弁護士相談（毎月第2木曜日）	12回	30件
司法書士相談（毎月第4木曜日）	12回	31件
行政書士相談（毎月第3木曜日）	12回	13件

ウ. 講座・研修会の開催

講座名	開催日 / 会場 / 内容等	参加者数
権利擁護市民セミナー	開催日：令和元年8月24日 会 場：市総合福祉センター 5階 中会議室 講 義：「住み慣れた地域で暮らしたい～目からウロコのお葬式&お墓事情～エンディング支援について」 講 師：古田口繁 氏（株式会社 村田）	90名 （目標100名）
成年後見制度実務者研修	開催日：令和元年11月23日 会 場：市総合福祉センター 5階 中会議室 講 義：「～任意後見制度から遺言まで～ 公証人役場の役割について」 講 師：篠崎和人 氏（松山公証人合同役場：公証人）	70名 （目標80名）

（2）法人成年後見事業

【自主事業】

認知症・障がい等によって判断能力が不十分な方を対象に、法的に権限が与えられた代理人（成年後見人等）として財産管理や身上監護を行い、権利擁護及び生活の質の向上に努めた。

ア. 受任件数

種 別	被後見人数				合 計
	市 長	親 族	本 人	職 権	
後 見	11件	2件	1件	—	14件
保 佐	—	—	—	—	0件
補 助	—	—	—	—	0件
合 計	11件	2件	1件	—	14件

イ. 法人成年後見事業支援員活動状況

法人後見支援員登録者数	延活動回数	延活動時間数
5名	93回	247時間

(3) 市民後見推進事業

【市受託事業】

住民参加による市民後見活動を推進することにより、認知症高齢者や障がい者の権利擁護に寄与するとことを目的に、市民後見人の養成に努めた。

ア. 研修会等の開催

講座名	開催回数 / 会場 / 内容等	延参加者数
成年後見人啓発 研修 (施設事業者向け)	開催回数：2回（令和元年9月30日・令和2年1月29日） 会場：市総合福祉センター 5階 中会議室 内容：成年後見制度活用術 講師：谷本亜希美 氏（泉川合同事務所：司法書士） 松山市介護保険課職員	42名 (目標60名)
成年後見人啓発 研修 (親族後見人向け)	開催回数：2回（令和元年10月10日・令和2年2月26日） 会場：市総合福祉センター 5階 中会議室 内容：成年後見人が行う財産管理・処分について 講師：野本真由美 氏（野本司法書士事務所：司法書士）	38名 (目標60名)
成年後見人啓発 研修 (中予圏域編)	開催回数：1回（令和元年10月17日） 会場：市総合福祉センター 5階 中会議室 内容：そなえて安心 知っておきたい 任意後見制度 講師：桑村達也 氏（愛媛司法書士法人：司法書士）	46名 (目標50名)
市民後見人養成講座 座修了者ステップ アップ研修	開催回数：6回（令和元年10月29日～12月3日） 会場：市総合福祉センター 5階 母子児童交流室 内容：①3職種の具体的なチームアプローチと問題解決方法 ②難聴の方の対応方法 ③後見人の事務作業 ④知的障がい者における対応方法 ⑤身寄りのない方の支援 ⑥成年後見業務における事例検討 講師：①矢川ひとみ 氏 (松山市介護保険課 基幹型地域包括支援センター：所長) ②山根由紀子 (市社会福祉協議会事業部 聴覚総合支援室) ③浦田明宏 氏 (リーガルサポートえひめ支部：司法書士) ④酒井裕之 氏 (松山手をつなぐ育成会すぎな園) ⑤村口毅 氏 (権利擁護センターぱあとなあ愛媛：社会福祉士) ⑥近藤益代 氏 (権利擁護センターぱあとなあ愛媛：社会福祉士)	49名 (目標78名)
市民後見人養成講座 座修了者フォロー アップ研修	開催回数：2回（令和2年1月27日・2月13日） 会場：市総合福祉センター 5階 中会議室 内容：①成年後見人がゆく ～本人の意思を尊重した支援の実際～ ②グループワーク ～事例検討～ 講師：①松浦慎一 氏 権利擁護センターぱあとなあ愛媛所属 (パーシモン社会福祉士事務所代表) ②能田ゆかり 氏 権利擁護センターぱあとなあ愛媛所属 (指定相談支援事業所トポス松山)	29名 (目標166名)

5 広報啓発事業

(1) 福祉啓発・人材育成事業

①福祉大会開催事業

【市受託事業】

福祉関係者を対象に福祉大会を開催し、多年にわたり福祉活動に功績のあった方々を表彰するとともに、関係者の相互理解と連携促進に努めた。

項 目	内容等
大会名	令和元年度 松山市福祉大会
開催日	令和元年9月3日
会 場	松山市民会館 大ホール
参加者数	約1,500名（目標1,800名）
内 容	○表 彰 324名・35団体 ○講 演 演題：「健康寿命を延ばす！ロコモ対策筋力トレーニング」 講師：谷本 道哉氏（近畿大学准教授）

②ボランティア養成講座事業

【市受託事業】

広く市民に対して点字や手話、朗読等各種ボランティア養成講座を開催し、障がい者の理解やボランティア活動への参加促進に努めた。

講座名	開催回数	参加者数（修了者数）
点 字	初級 20回 ・ 中級 19回	初級 5名（5名） ・ 中級 5名（5名）
手 話（午前）	入門 19回 ・ 基礎 20回	入門 22名（18名） ・ 基礎 17名（14名）
手 話（夜間）	入門 19回 ・ 基礎 20回	入門 37名（21名） ・ 基礎 22名（19名）
朗 読	初級 12回 ・ 中級 13回	初級 19名（19名） ・ 中級 19名（19名）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため点字講座1回、手話講座2回中止

③コミュニケーションスキルアップ講座事業

【自主事業】

コミュニケーションのスキルアップに興味のある方を対象に、傾聴や心理学によるコミュニケーション技法の学びの場を提供し、地域で活動できるキーパーソンの育成に努めた。

項 目	内容等
開催回数	18回（令和元年9月12日～令和2年2月20日）
会 場	市ハーモニープラザ3階 多目的室1
講 師	福本 由美氏（脳活性サポート企業 gift 代表）
参加者数	40名（目標：40名）
内 容	傾聴講座・心理学講座

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため2回中止。

